| 助成者  | 島上 宗子         | 活動期間 | 2012年4月~2015年3月、2017年4月~2020年9月 |
|------|---------------|------|---------------------------------|
| 所属機関 | 一般社団法人あいあいネット | 職名   | 副代表理事                           |

## インドネシアにおける地域環境教育プログラムの創出 ~「森の聞き書き」手法を活かして~

【活動場所】インドネシア 西ジャワ州ボゴール、中スラウェシ州、中カリマンタン州パランカラヤ、ゴロンタロ州

【事業目的】日本の高校生に実践されてきた「※森の聞き書き甲子園」の経験と手法を活かし、日本とインドネシアの環境教育実践者(高校教員やNGO職員など)の交流と学びあいを促すことで、インドネシアの地域に根ざした環境教育プログラムが考案され、実践される基盤を創り出すことを目的とする。

※毎年全国から選ばれた100人の高校生が、同じく全国から選ばれた100人の森の名人を訪ねて話を聞き「聞き書き」としてまとめるプログラムで、2002年より NPO法人共存の森ネットワークの吉野奈保子氏や、農水省、文科省などにより実施されている。町で育った若者と森で暮らした年配者の間に、世代と生活環境の違いを越えた対話と交歓を生み、人と人、人と森をつなぐ実践活動を生み出すきっかけとなっている。





## 【活動内容】

2012年: ボゴール・コルニタ高校での聞き書き研修 2013年: 中スラウェシ州パルで聞き

書き研修 (4校16名参加)、成果セミナー開催 (16校70名参加) 成果本刊行(500部)

2014年:聞き書きコンテスト開催、日本への視察・聞き書き甲子園との交流

2017年:ボゴールで聞き書き研修 (ボゴール、パル、中カリマンタン州パランカラヤから計11校約80名参加) 聞き書きコンテスト開催、パランカラヤ市で成果報告会と聞き書き研修(パランカラヤ市と共催、約80名参加) 成果本刊行(500部)

2018年:スラウェシ・ゴロンタロ市で聞き書き研修(ゴロンタロ大学と共催、約80名参加)

2019年: ゴロンタロ、中スラウェシ、ボゴールで聞き書き研修、聞き書きコンテスト開催、成

果セミナー開催、聞き書きインドネシア事務局の組織化とウェブページ開設

## 【活動成果】

聞き書きがインドネシアで認知され、拡がったことが大きな成果である。また自然と関わる生業を営む年配者からの話を原則として進めたことで、経済発展と脱農化の中で生きる学生たちへ、環境教育プログラムとして良い気づきを与えることができた。自立的な仕組みづくりは、政府機関や大学等との連携に注力した結果、一部予算化が実現し、事務局も組織化された。聞き書きはインドネシアで親和性が高いことが証明されたので、今後も環境教育プログラムとして継続・発展していくことを期待したい。